

# いちご病害虫情報第9号(2月)

平成31(2019)年2月14日  
栃木県農業環境指導センター

## ○今月の病害虫発生状況○

- ・ 灰色かび病の発生は少ない、うどんこ病の発生はやや少ないです。
- ・ ハダニ類及びアザミウマ類の発生は、平年並です。
- ・ アブラムシ類は、発生ほ場率が平年より高く、多い発生です。

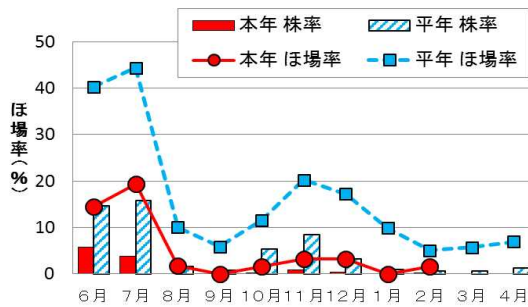


図1 うどんこ病発生ほ場率・株率

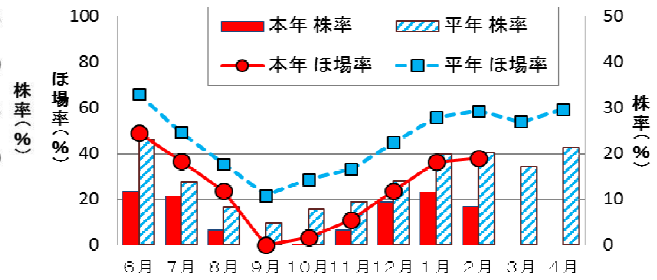


図2 ハダニ類発生ほ場率・株率

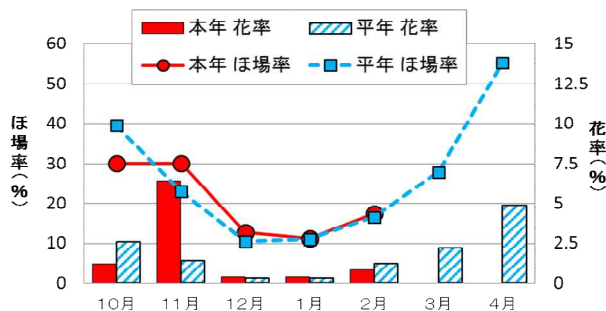


図3 アザミウマ類発生ほ場率・花率

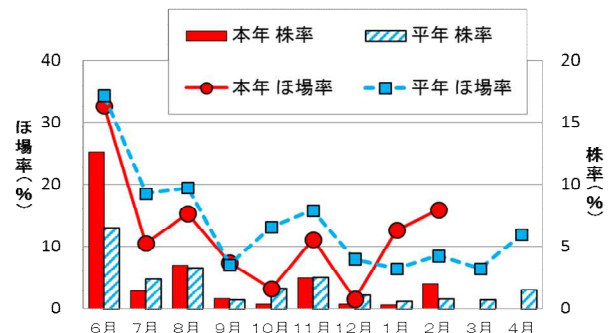


図4 アブラムシ類発生ほ場率・株率

## ○今月の技術情報（技術指導班）○（2月）

・ 乾燥状態が続いてきたことから、アブラムシ類の発生がやや多く、また、一部でハダニ類の発生もやや多く見られますので、注意が必要です。

・ 向こう1か月の天候の見通しは、気温は平年並か高く、また、低気圧の影響を受けやすいため、降水量は多く、日照時間は少ない見込みとなっています。現時点では、病害の発生は平年並～少ない傾向ですが、今後、ハウス内の湿度が高くなると、灰色かび等の病害の発生が懸念されます。ハウス内の適正な温度管理や換気等により、病害の発生しにくい環境作りに努めましょう。

・ これからの時期は、日射も強まるため、温度の上昇による果実の傷みなど、品質低下にも注意が必要です。換気方法を工夫するなど、品質重視の管理を心がけましょう。



写真1 糸を張るナミハダニ



写真2 果梗に寄生するワタアブラムシ